昴へ

昴、お母さんは　昴に会えなくて　さみしいよ。
３月９日　あの日の朝、「今日の夜はナイター練習行くの？テスト勉強するの？」と聞いたら「シェシェシェシェシェ〜」なんて　おだってちゃんと答えなかったね。
それが昴と交わした最後の言葉・・

まさか昴ともう冗談を交わすことができなくなるなんて・・
まさか昴の野球をしている姿を見れなくなるなんて・・
まさか大好きなお肉をいっぱい作っても食べてもらえなくなるなんて・・
まさか・・昴をぎゅうーっと抱きしめたくても抱きしめられなくなるなんて・・

お母さん　この１年、昴が亡くなった事、まともに受け止められなかった・・
ただただ、一日一日を一生懸命生きてきた。悲しい気持ちをこらえながら。
でも、一人になると泣けてきた。それはお父さんも一緒だと思う。
お父さんが昴の事を思い出している時、それがどれだけの悲しみなのか分かるから、お母さんも泣けてきた。だから涙はいつも２倍。

そんなお母さんたちを、たくさんの人たちが励ましてくれました。
「本当にありがとう」の気持ちでいっぱいです。

悲しみに包まれている時、その気持ちに寄り添ってもらえるだけで、心が温かくなってくる・・
昴、励ましってそういうものなんだね・・

Mr.Children の桜井さんが書かれた「花の匂い」の詩に
「♪どんな悲劇に埋もれた場所にでも幸せの種は必ず植わってる」
とありました。
お母さんは昴が交通事故で亡くなった事を「悲劇」だけで終わらせたくない。
昴は１３年間、あの瞬間まで精一杯生き、私たちに希望を与えてくれました。そして今でも昴はいつもいつも私の心の中にいる。
昴が残してくれた幸せの種、それは「みんなが幸せになってほしい」という思い。
お母さんはその花を咲かせて行くために生きていきます。

出来る事なら、もう一度昴に会いたい・・そんな気持ちは拭えません。
その日が来るまでお母さんは、もっと人として成長していかなければと思っています。頑張るよ。見守っていてね。昴！

平成３０年３月９日　　小林　久里子